

富山県の農業農村整備

水と里



富山県農林水産部

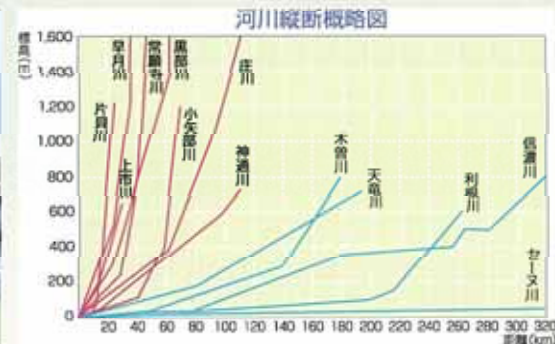
富山県の概要

本県は本州の中央部に位置し、三方を北アルプス立山連峰などの急峻な山々に囲まれ、日本海を抱くように平野が広がっており、総面積約 43 万 ha が半径 50km にコンパクトにまとまった地形となっています。

また、万年雪をたたえた天然の巨大なダムともいえる 3,000m 級の山々からは、一年を通じて豊かできれいな水が急峻な地形を駆け降りてきており、農業用水をはじめ、水力発電や工業用水など多目的に利用され、県民の暮らしや産業を支える重要な資源となっています。



雨晴海岸(高岡市)から望む立山連峰



農業の概況

1 富山県農業の特徴

本県の農業は、気候風土と豊かな水に恵まれて、古くから米を主体に発展してきており、全国屈指の水田率、ほ場整備率などのもと、現在では農業産出額の7割以上を占める米を中心に、野菜や果樹、花き、畜産などが地域の特性を活かしながら展開されています。

(1) 豊富な水と恵まれた土地基盤

急峻な山岳地帯に源を発する豊かな清流は、本県の 59,800ha(H19 年)の耕地をうるおしており、本県の水田率は 96.0%(全国平均 54.4%)で全国第 1 位となっています。

また、ほ場整備は全国に先駆けて積極的に進められ、30a 区画以上のほ場整備率は 82.6% (H19 年度末) と全国トップクラスとなっています。

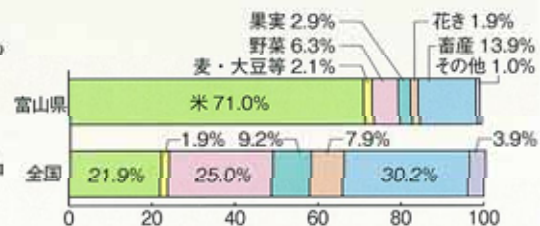
(2) 米を中心とした生産構造

本県の農業産出額(約 624 億円(H19 年))のうち、米が約 443 億円と全体の 71.0%(全国平均 21.9%)を占め、生産構造は米を中心としたものになっています。

また、一方では、本県特産のチューリップ球根をはじめ、白ねぎ、日本なし、干し柿など地域に根ざした園芸振興、さらには、土地利用型畜産の振興を図るなど、富山ならではの地域の特色を活かしたブランド品の育成を図っています。



〔水田率〕



〔農業産出額に占める作物毎の割合(H19)〕

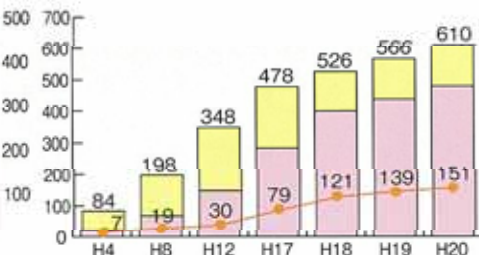
(3) 次代に向けた地域営農体制の構築

本県販売農家の90.2%(全国平均77.4%)が兼業農家で占める農業構造の下で、集落や地域において最も効果的な営農が展開されるよう、全国に先駆けて集落営農組織の育成に取り組み、今日まで754組織(H19年度末)の育成を図っています。

さらに、集落営農組織を認定農業者とともに、本県農業の主要な担い手として位置づけ、その組織化や法人化を促進しています。



〔認定農業者及び農業法人の推移〕



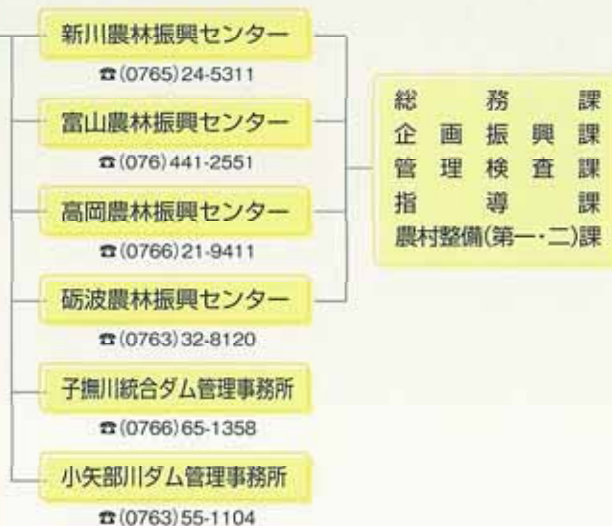
〔集落宮農の推移〕

農業農村整備事業執行体制

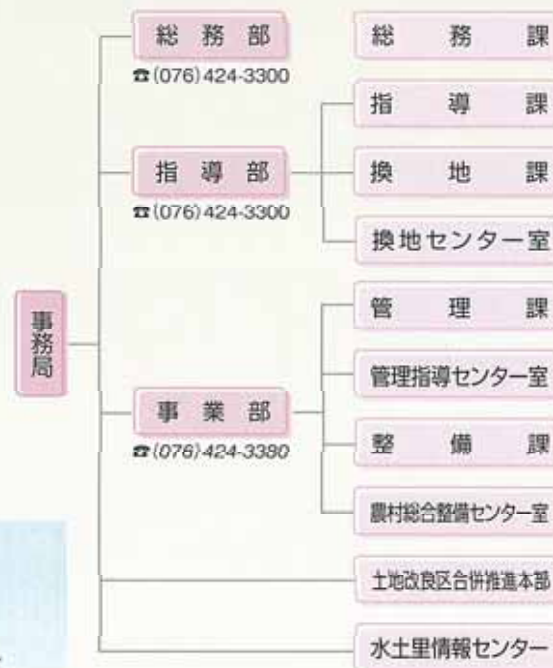
【県庁】



【出先機関】



【土地改良事業団体連合会】 (水土里ネット富山) ☎(076)424-3300(代)



富山県管内図



農業・農村が有する多面的機能の評価額

農業・農村は、食料の安定供給はもとより、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等の多面的機能を有しています。

富山県では、農業農村整備に関連する多面的機能を以下の12項目に着目して定量的評価額を本県独自の手法も用いて算出したところ、その評価額は総額で年間約918億円となり、県民(約110万人)一人当たり年間約8万円以上の恩恵を受けているという結果になりました。

多面的機能の評価額

富山県の農業農村整備に関連する多面的機能の評価額(平成20年度)

区分	機能名	評価額	役割	評価手法
国土の保全	洪水防止機能	244億円	ほ場整備の畦畔整備により水田の貯留機能が向上し、洪水被害の防止に寄与	代替法
			排水改良により公共施設の浸水被害防止に寄与	直接法
	土砂浸食崩壊防止機能	18億円	農地が耕作されることにより土壌浸食の抑制に寄与	代替法
		(60億円)	山間地の水路が維持されることにより山地崩壊防止に寄与	直接法
生活環境の改善	水質浄化機能	9億円	集落排水事業により害虫の発生防止に寄与。また、農業用水が都市部の水路の希釈浄化に寄与	[県独自評価]代替法
		(5億円)	集落排水事業により排水路の水質浄化に寄与	[県独自評価]直接法
	地域用水機能	13億円	農業用水は火災時の消火や冬期の消流雪に寄与	[県独自評価]代替法
	産業誘発・生活道路等機能	230億円	農道が整備されることにより、地域の利便性の向上や、産業誘発等の地域活性化に寄与	[県独自評価]ヘドニック法
自然環境の保全	地下水涵養機能	149億円	水田の水は地下に浸透し、地下水の涵養や河川等の流況安定に寄与	代替法
	クリーンエネルギー機能	64億円	農業用水を利用した水力発電は、化石燃料を使わないエネルギーを提供し、CO2削減に寄与	[県独自評価]代替法
	気候緩和機能	2億円	水田は夏期の気温を抑え、冷房経費の節減に寄与	代替法
	生態系保全機能	48億円	農業用排水路やため池を適正に保全管理することにより、水性動植物の生態系の保全に寄与	[県独自評価]CVM
保健休養・遊び	リフレッシュ・癒し機能	48億円	水や緑に恵まれたため池やダム、用排水路等は、心のやすらぎや自然とのふれあいの場の提供に寄与	[県独自評価]CVM
伝統文化の保全・継承	伝統文化の保全・継承機能	48億円	農村の集落機能を維持することによって、古くから伝わる祭りなどの伝統文化の継承に寄与	[県独自評価]CVM
		(3億円)	事業の実施により貴重な埋蔵文化財の発見・発掘が行われ、地域の歴史・文化の解明に寄与	[県独自評価]直接法
情操教育	自然学習機能	45億円	農業水利施設の歴史や豊かな自然は、学習教材の提供に寄与	[県独自評価]CVM
合計		918億円		

※評価額は農業農村整備に関連する多面的機能の評価額であり、()は参考評価として合計に含めていない。

【評価手法】 代替法：評価の対象となる機能を市場で取引されている物やサービスで置き換え、これらの価格により機能の経済的評価を行う手法
C V M：仮想状況を設定したアンケート調査によって、機能等の評価に対して回答者側が支払ってもよいと思う金額(支払意思額)を引き出し、その結果で推定する手法
ヘドニック法：投資便益が土地などの財もしくはサービスの評価額に反映されるというキャピタリゼーション(資本化、投資)仮説に基づく評価手法

施策別の展開状況

1 担い手を支援育成する農地整備の推進

経営体育成基盤整備事業

ほ場の大区画化等の実施により、担い手の営農効率化に資する総合的な生産基盤整備を実施するとともに、担い手の育成を積極的に推進しています。また、客土、暗渠排水、土壌改良等の汎用化整備を実施し、多様な農産物の生産が可能となる農地づくりも推進しています。



担い手を支援する大区画ほ場の整備



大区画ほ場での大型機械による営農状況

2 物流や営農の効率化に対応した農道整備

農道整備事業

農作業の効率化や農産物流通の合理化を図るため農道の整備を実施しています。また、県内を縦横している約140kmの広域農道を対象に橋梁点検を実施し、橋梁の劣化や損傷原因の除去、進行の防止または抑制などの対策とともに、現在の設計仕様に準拠していない橋梁の耐震化による安全対策を推進します。



整備された農道



落橋防止装置を設置した橋桁と橋台

3 農地を潤す農業水利施設の計画的な整備更新

基幹水利施設ストックマネジメント事業

農業水利施設の整備更新にあたっては、流域を基本として全県を13地域に分割し、すべての基幹的施設において実施した機能診断を基に機能保全計画を策定し、施設の長寿命化やライフサイクルコストの低減を図っています。



機能診断(強度確認試験)



施設の長寿命化を図るための補強

農業用水を利用した小水力発電

本県の農業用水は、年間を通して豊富な水量と遊休落差を有しています。この特長を生かし、本県は、農業用水を利用した小水力発電を積極的に推進し、地球温暖化対策に貢献するとともに、土地改良区が管理する農業水利施設の維持管理の軽減を図ります。



臼中発電所



発電機

農業農村整備の推進方向

富山県農業農村整備実施方針 -とやま水土里プロジェクト 2008-

基本施策

施策の展開

I 力強い農業をめざして (次代につなぐ生産体制の構築)

意欲ある担い手の育成確保

1 担い手を支援育成する農地整備の推進

2 物流や営農の効率化に対応した農道整備

活力ある農村社会の維持

3 農地を潤す農業水利施設の計画的な整備更新

4 土地改良施設の適切な維持管理

5 土地改良区の役割発揮

6 地域を守る防災対策の推進

快適な農村空間の創造

7 快適な生活環境の整備

II 活力ある農村をめざして (魅力ある美しい農村空間の創造)

豊かな地域資源の保全

8 自然生態系や景観に配慮した地域づくりの推進

9 集落ぐるみによる地域資源の保全

地域資源を活かした
都市農村交流等の推進

10 都市農村交流の推進

11 定住・半定住に資する総合整備

4 土地改良施設の適切な維持管理

基幹水利施設管理事業

農業水利施設は公共性の高い社会資本ストックとして、安定的な食料供給に資するだけでなく、多面的な機能を発揮しています。大規模なダム・排水機場及び農業用排水路等の土地改良施設について有効活用を図るため、維持管理の充実や管理体制の整備を推進します。



刀利ダム



射水排水機場(中央排水機場)

5 土地改良区の役割発揮

土地改良区の組織・運営基盤の強化

土地改良区統合整備第3次推進計画(H18～H22)などにより、土地改良区の統合整備を進め、土地改良区の人的・財的基盤の充実を図ります。

(第1次推進計画の期間はH4～H10、第2次推進計画の期間はH11～H17)



土地改良区数の推移



土地改良区合併調印式

8 自然生態系や景観に配慮した地域づくりの推進

県単農業農村整備事業(農村整備関連生態系保全)

農業水利施設の整備にあたり、生態系の保全と創出を図るため、環境に配慮した工法を採用しており、その掛増費用の地元負担分を支援しています。



生き物調査



生態系に配慮した水路

9 集落ぐるみによる地域資源の保全

農地・水・環境保全向上対策

農家のみならず地域住民等の参画を得た、集落ぐるみによる農地・農業用水等の資源の保管理活動を支援しており、678(880 集落)の活動組織(H21年10月現在)が様々な共同活動を展開しています。



集落ぐるみによる草刈り



水路の目地補修

6 地域を守る防災対策の推進

公害防除特別土地改良事業

神通川流域及び黒部地域において、カドミウムにより汚染された農用地の復元事業を実施しており、神通川流域は平成23年度までに、黒部地域は平成26年度までに優良農地に復元する予定としています。



汚染土の埋め込み



新たな客土の搬入

10 都市農村交流の推進

富山県棚田保全活動支援事業

棚田地域の農地等の有する多面的機能の良好な発揮と集落の活性化を図ることを目的として、棚田地域の農地等の保全・利活用に係わる活動を支援します。



棚田オーナーによる田植え



赤かぶオーナーによる種まき

7 快適な生活環境の整備

農業集落排水事業

農村下水道の整備を進め、整備率(農業集落排水普及率)は平成20年度末で79%と全国平均より20ポイント以上高くなっており、水質汚濁による農業被害の解消等、農村生活環境の改善を図っています。



農村下水道の処理施設

11 定住・半定住に資する総合整備

中山間地域等直接支払制度

中山間地域において耕作放棄地の発生を防止するとともに、中山間地域の有する多面的機能を維持・確保するため、第1期対策(H12～H16)に引き続き第2期対策(H17～H21)を実施しています。

(H20実績：332協定、協定面積4,617ha(対象農用地の90%で実施))

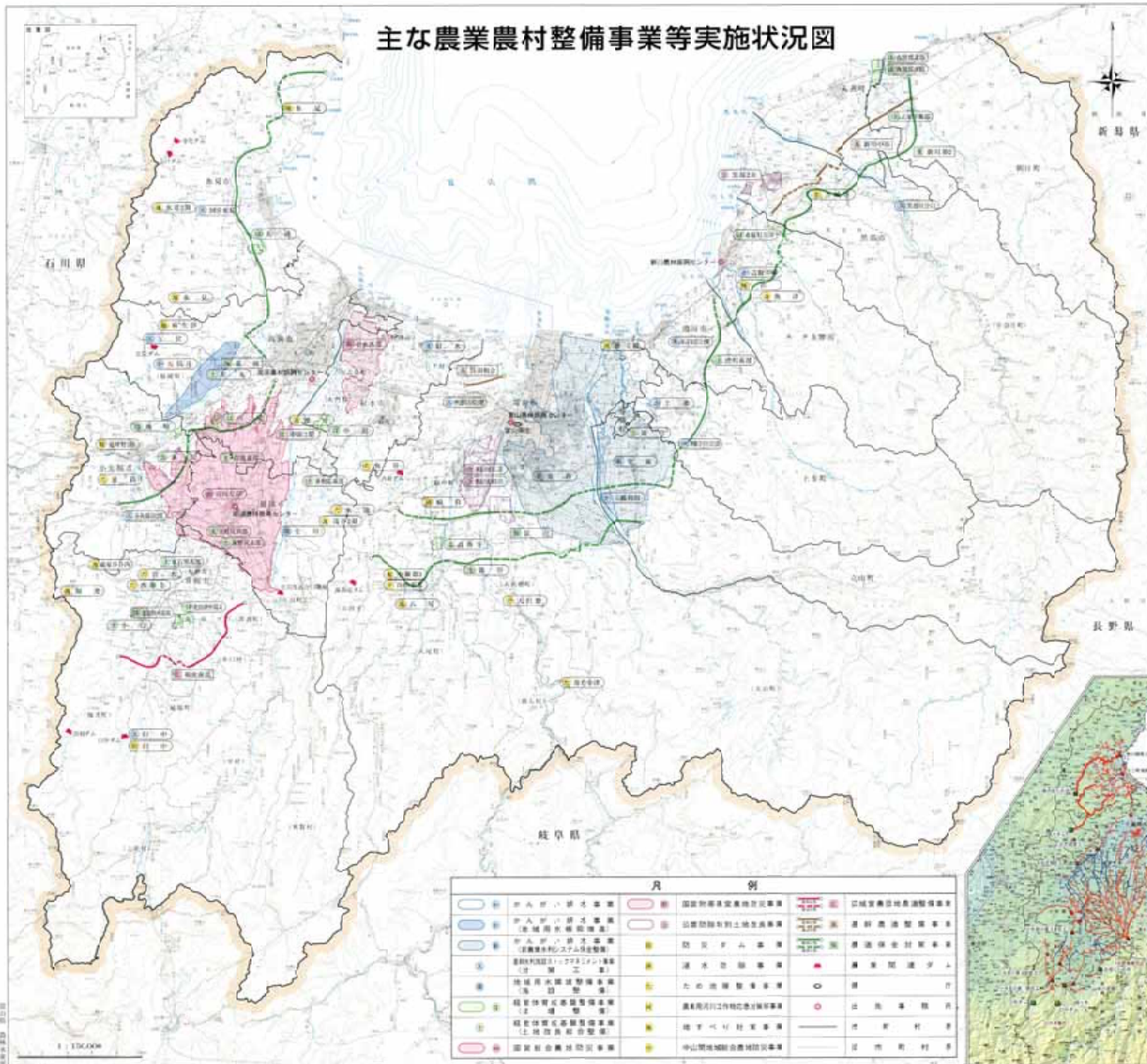


農業公社との連携による農業生産活動



耕作放棄地復旧による景観作物の作付

主な農業農村整備事業等実施状況図



平成21年度 事業実施地区一覧表

[illegible]

富山県内の主要な産業水利施設位置図

